

知事と政策連携団体代表者の意見交換 議事概要

1 団体名

(株) 東京国際フォーラム

2 実施日時

令和元年7月19日(金) 10時55分～11時10分

3 出席者

- ・団体側出席者：上條社長、小池常務取締役、土村商工部長（産業労働局）
- ・都側出席者：小池知事、遠藤総務局長、武市財務局長、
小林行政改革推進部長

4 議事概要

○小池知事

（東京2020大会のウェイトリフティング会場として）良い場所にウォーミングアップの場所を作っていたらと思う。

来年は閉館中に、（国際フォーラムを会場としている企業の）株主総会があるということだが、工夫して対応はできているのか。

○上條社長

大きなところについて、ホールAは使えないので、ホールCやその他のホールを使うこと、また、他の施設との連携をすることでご了解をいただいた。

○小池知事

2020年以降の東京を盛り上げるためにも、国際フォーラムはいい舞台である。2020年以降の予約状況はどうなっているのか。

○上條社長

大きな国際会議が入っているほか、オリンピックが終わったら、ぜひやりたいというような連絡を受けているところもある。

○小池知事

予約が困難だからこそプレステージが高いという方向に持っていけるように、都の様々な活動と連携しながらやってほしい。

最近、都内でも会議室の貸し出し事業が多い。競争相手となるが、できるだけポジティブに捉えてもらいたい。

○遠藤総務局長

MICE誘致についてだが、大きい会議になると2年、3年と仕込みが要ると聞くのだが、その辺りの長期的な戦略があれば教えていただきたい。

○小池常務取締役

例えば、地域のDMO丸ノ内と連携するなどの手法はある。

また、海外の大きなMICEイベントをやる際に、場所の選定から会議の運営まで請け負う組織がある。そういうキーパーソンに対して、当館としても積極的に働きかけて、関係を築いている。

○遠藤総務局長

よく海外の方は配偶者同伴で来られる。会議の間、配偶者の方がどこで時間をつぶして遊べるかということも大事だと聞くこともある。例えば、銀座も近いので、そうした地域と連携することはあるのか。

○小池常務取締役

まさにDMO丸の内内の活動がそれに相当する。アフターコンベンションやナイトタイムエコノミーなどの開発、発信は地域で進めていく形であると思っている。

○小池知事

今後ともよろしく願います。